

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	東京都港区芝浦4-15-1 プラウドタワー芝浦2階
園名	ポピンズナーサリースクール芝浦ベイ

1. 活動のテーマ

<テーマ>

多文化理解を軸にした探求活動

<テーマの設定理由>

当園のオンラインプログラムで、世界各国とリアルタイムでつながり経験を重ねる中で、世界と自分の住んでいる日本との違いに興味を持つ姿が見られることから、世界各国の「文化、動物、紙幣、音楽」に触れ、子どもたちの多文化への興味の幅を広げ、多様性への理解を深めていくため。

2. 活動スケジュール

2025/5/13 ブラジル
2025/6/17 ブータン
2025/7/22 イタリア
2025/8/12 世界の楽器に触れよう
2025/11/27 コスタリカ
2025/12/22 フランス
2026/1/22 デンマーク
2026/2/24 ベトナム
2026/3/19 イギリス

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

プロジェクター、スクリーン、図鑑各種（世界の国旗、挨拶、食べ物など）、楽器（キーボード、マラカス、ウッドブロックなど）、パスポートのような台紙、入国スタンプデザインの各国のシール、各国を紹介する教材

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

2025/5/13 ブラジル…アマゾン河中流の州都マナウス。淡水に生息する珍しいピンクイルカを紹介してもらう為にアマゾン川へ。アマゾンのお祭りも紹介。

2025/6/17 ブータン…現地の友だちからブータンのご飯や瞑想を教えてください、一緒にチャレンジ。

2025/7/22 イタリア…ローマを紹介し、歴史ある街並みを見た。日本とイタリアの食べ物の違いを教えてください。

2025/8/12 世界の楽器に触れよう…ブラジル、オーストリア、ベトナムなどの民族楽器についてのプログラムを見たあと、実際に本物の楽器に触れ、お子様も鈴やタンバリンを使って、イッツアスモールワールドの曲に合わせて演奏を楽しんだ。

2025/11/27 コスタリカ…自然豊かなコスタリカ共和国に暮らす動物を探す探検ツアー。見ると幸せになるというケツアール、カラフルなカエル、なまけものの赤ちゃんなどを紹介。

2025/12/22 フランス…クリスマスで賑わうパリから、クリスマスマーケットのくるみ割り人形、オーナメント、ホットドリンクやソーセージなども紹介。みんなで、クリスマス柄のコップを使って、「ジュワイユ・ノエル（クリスマスおめでとう）！」と乾杯をした。

2026/1/22 デンマーク…歴史とデザインの街を、デンマーク在住の女の子が宮殿や市場、伝統のおやつフルーボラーについて紹介。

2026/2/24 ベトナム…旧正月で賑わうベトナム・ハノイ。伝統衣装のノンラー（帽子）ができる様子や水上人形劇を紹介。ハノイ近郊の線香村から届いたお線香と日本のお線香の嗅ぎ比べを行った。

2026/3/19 イギリス…タワーブリッジや二階建てバスの街並みのロンドンとたくさんの羊が住むコッツウォルズ村、2つの街を紹介。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

2025/5/13 ブラジル…「ピンク！」「ピンクのイルカさん、かわいい！」と、自分たちの好きな色と結びつけて親しみを感じている様子だった。ピンクイルカが出てくるたびに「見て！見て！」と友だちや保育士に教えていた。

2025/6/17 ブータン…瞑想についてふれた場面では、「目を閉じて、静かにしてみるよ」という呼びかけに対し、一生懸命に目を閉じたり、薄目を開けて周りをキョロキョロ見たりする姿も見られた。「しー」と、声をかける子どももいた。

2025/7/22 イタリア…画面にピザやスパゲッティが映ると、「あ！ピザだ！」「食べたーい！」と大好きな食べ物が、イタリアの食べものだと知る時間となった。

2025/8/12 世界の楽器に触れよう…見たこともない形の楽器を前に、「触っていい？」とドキドキしながら触る姿が見られた。実際に音が出ると「わあ！」「おもしろい音！」と感じたことを言葉にしていた。『イツ・ア・スモール・ワールド』に合わせて鈴や端部倫を振る時、保育者やスタッフに笑顔を見せていた。活動が終わっても世界の楽器から離れず、何度も触っている子どもが多かった。

2025/11/27 コスタリカ…画面の中にいる動物を一生懸命探し、「あ！いた！」「カエルさん見つけた！」と指をさして大興奮していた。なまけものの赤ちゃんが映ると、「かわいい！」「ねんねしてる」「あかちゃんだー！」と、小さく可愛い存在に対して、大事にするような言葉が聞かれた。コスタリカの挨拶「プーラビータ」は、言いやすいようで大きな声で言っていた。

2025/12/22 フランス…『ジュワイユ・ノエル』とみんなで声を合わせて実際に乾杯することで、みんなで、クリスマスの特別な時間だという一体感があつた。

2026/1/22 デンマーク…デンマークの食べものが、たくさん紹介され、「おいしそう！」と言ったり、手を伸ばして食べる真似をする子どもがいた。家が、カラフルなことに見入っている姿が見られた。

2026/2/24 ベトナム…お線香を持った保育士が子どものそばに行くと、鼻を近づけて一生懸命に匂いを嗅いでいた。「こっちはカレーの匂い！」「こっちはちょっとくさい」など、感じた匂いの違いを、言葉にしていた。

2026/3/19 イギリス…乗り物が大好きな子どもが多いので、真っ赤なバスが映ると、「あ！赤いバス！」「二階建てだ！」「見たことあるよ！」と立ちあがっている子どももいた。英語での挨拶は、知っている身近な言葉だったので、自信を持って挨拶する姿が見られた。



参加の様子



フランス語でご挨拶！



クリスマスマーケットに到着！



みんなでグラスをあわせて乾杯！



サンタさんに会えた！

株式会社ポピンズエデュケア ポピンズプラス事務局 <poppinsplus_nursery@poppins.co.jp>

答え Q1:① Q2:②



音楽活動「世界の楽器に触れよう」



作成日：2025年8月12日 @PNS芝浦ベイ



本日、ポピンズプラスのスタッフ
世界の楽器に触れるワークショップ
を開催しました。
ブラジルやオーストラリア、ペ
トナムの民族楽器について動画での
明を聞いたあと、実際に本物の楽
器に触れ、最後はイッツアスマール
ドの曲に合わせて演奏を楽し
みました！

- 言語
- 音楽
- 論理数学
- 空間構成
- 身体運動
- 自然科学
- 社会性
- 自己受容

5. 振り返り〈振り返りによって得た先生の気づき〉

映像を見るだけでなく、実際に「楽器に触れる」「お線香の匂いを嗅ぎ比べる」「クリスマスのカップで乾杯する」といった五感を通した体験によって、子供たちの理解をより深めることができた。各国のクイズに積極的に参加し、子供たちが、自分と違うことを「分からない」と捉えるのではなく、「面白い」「もっと知りたい」という好奇心として受け止めている姿が見られた。「ジュワイユ・ノエル」や各国の言語での挨拶などの現地の言葉を真似して楽しむ様子から、多様性を自然に受け入れる感性が育っていることを実感した。海外在住者から中継で話を聞いたり、現地の本物の映像を見たりすることが、子供たちの世界を広げることに繋がっていた。